



4 片付けできるかな?~片付けの工夫~



子どもがいると家の中が片付かない、片付けをしない、おもちゃが増えて困る…など、片付けの悩みは子育てにつきものですね。

「片付けなさい。」とつい言ってしまうがちですが、実は「片付ける」という言葉は、「何を、どこへ、どのようになれば良いのか」が分かりにくい曖昧な言葉でもあります。

そこで「片付ける」＝「使ったものを元の場所に戻す」と考えてみましょう。

「おもちゃをおうちに返そうね。」「おもちゃを持ってきた場所に戻してごよう。」などと声を掛けてみると、少し分かりやすくなるのではないのでしょうか。

まずは、収納の仕方を見直してみましょう。物の置き場所を明確にすることで、片付けは短時間に、より取り組みやすくなります。

次のような工夫はいかがでしょうか。

うちの子
片付けをしない。
家の中が、
片付かないわ…。



おもちゃなど



- 乗り物、ままごとと道具、絵本、パズルやゲーム類、積み木など分類して収納しましょう。箱や引き出し、棚など遊具の定位置を決めておくと、出しやすく戻しやすくなります。
- 収納場所に写真やイラストを貼っておくのも 場所が分かりやすくおすすめです。



たくさんのおもちゃを一度に出してしまった場合は、大人と一緒に分類しながら「〇〇のおうちはどこかな?」など言葉を添えて手渡してあげると、片付けやすくなるでしょう。



洋服など



- 下着類、Tシャツ類、ズボンなど分けて収納してみましょう。
- 脱いだものは洗面所のかごに入れるなど、簡単に始末できるよう、工夫してあげましょう。



収納場所が明確になると、収納できる量も分かりやすくなります。大人が定期的に量を調整し、おもちゃが多すぎる場合は一旦しまっておくこともよいでしょう。



片付けた結果「きれいになった」「心地よい」という感覚を味わうことも、とても大切なことです。「〇〇ちゃんが頑張ったから部屋がきれいになったね。」「こんなにスッキリして気持ちがいいね。」など具体的に言葉にして認めながら、片付けるときれいになるということを、繰り返し知らせていきましょう。